

【概要】
2018 年度 民間住宅ローン利用者の実態調査
【民間住宅ローン利用予定者編】(第1回)

I 調査の概要

今後5年以内に住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定がある方を対象に、希望する住宅ローンの金利タイプ、住宅取得に向けた意識や行動などについて、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。

(参考) 調査時期:2018 年 10 月 3 日～10 月 11 日、回答数:1,500 件

II 調査結果の主なポイント

※〈 〉は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 利用予定の金利タイプは、「変動型」「固定機関選択型」の希望割合が減少、「全期間固定型」の希望割合が増加 〈p. 2〉

- ・「変動型」27.5% (前回調査 28.1%)
- ・「固定期間選択型」32.9% (同 35.7%)
- ・「全期間固定型」39.5% (同 36.2%)

2 今後1年間の住宅ローンの金利見通しは、「ほとんど変わらない」「見当がつかない」が減少、「現状よりも上昇する」が増加 〈p. 3〉

- ・ 全体では、「ほとんど変わらない」が 33.0% (前回調査 36.8%) に、「見当がつかない」が 16.7% (同 20.7%) に減少、「現状よりも上昇する」が 42.0% (同 34.7%) に増加、この傾向は各金利タイプに共通

3 住宅の買い時意識は、「買い時だと思う」が4割 〈p. 5、p. 6〉

- ・ 今(今後1年程度)の住宅の買い時意識は、「買い時だと思う」が 41.4% (前回調査 40.9%)、「買い時だと思わない」が 20.3% (同 18.7%)
- ・ 買い時だと思う理由は、「住宅ローン金利が低水準だから」が 69.1% (同 76.2%) と最も多く、次いで「消費税率引上げ前だから」が 59.6% (同 49.0%)